

世界天文年2009開会式典
(International Year of Astronomy 2009 Opening Ceremony)
開催期間:2009年1月15～16日 開催場所:フランス/パリ

名古屋大学 工学部 電気電子情報工学科
1年 田中裕也

貴財団の援助を賜り、2009年1月15から16日にかけてパリのUNESCO本部で開かれた「世界天文年2009開会式典」(International Year of Astronomy 2009 Opening Ceremony)に参加しました。今年、ガリレオが望遠鏡で月を観測した1609年から数えてちょうど400年の節目の年であり、世界天文年と定められています。スローガン「宇宙...解き明かすのはあなた」のもと、世界中の人々が宇宙における地球や人間の存在に思いを馳せ、自分なりの発見をしてもらうことが目的です。開会式典では、著名な科学者による講演、ポスターや写真の展示、レセプションなどが催されました。このような式典に参加できたことは、とても光栄なことと思うと同時に、貴重で有意義な機会をくださった、貴財団始め、関係者の方々に心よりお礼申し上げます。

この度開会式典に出席するようになったのは、高校生のときに参加したJAXA宇宙科学研究本部主催の「君が作る宇宙ミッション」(通称:きみっしょん)がきっかけで、その時お世話になった南部さんからの誘いを受け、参加することになりました。南部さん、また貴財団との連絡の労を取って下さった対外協力室の阪本さんにこの場を借りてお礼申し上げます。

講演のテーマは、天文の歴史と文化、星の生と死、ブラックホールと宇宙など、どれも興味深いものばかりで、宇宙の壮かさ、面白さを改めて感じました。また、南極局とのTV中継や、リモート観測の機会もあり、とても充実したものでした。ただ、講演は全て英語(または仏語)で行われたので、聞き取れない箇所がいくつかあり、悔やまれるところです。しかし、これは今後の課題として、英語能力の向上に活かしていきたいと思えます。

また、式典には世界100カ国以上の国々から学生が招かれ、様々な人と交流することが出来ました。天文についてだけでなく、趣味や自国文化など様々なことについて談笑でき、とても有意義な時間を過ごすことが出来ました。こうして世界の様々な国の学生とつながりを持つというのはとても貴重なことだと思います。そして、日本とは異なった文化、宗教、考え方に触れ、良い刺激になり、見習うべきところも多くありました。この経験を今後活かしていけたらと思います。

最後に、改めて貴財団及び関係者の方々にお礼申し上げます。有難うございました。今後も多くの方がこのような貴重な機会を得られることを祈っています。

